

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 19 週分・5 月 5 日～5 月 11 日)

■今週の主な動向

○百日咳が今週 29 例（2025 年累積 155 例）報告されました。

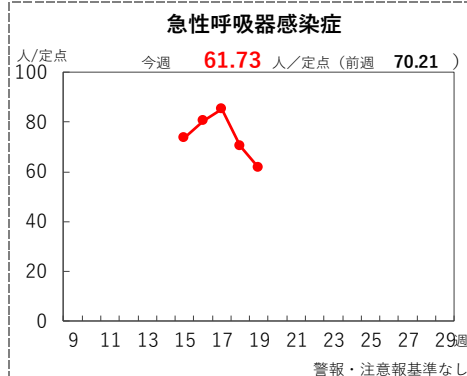
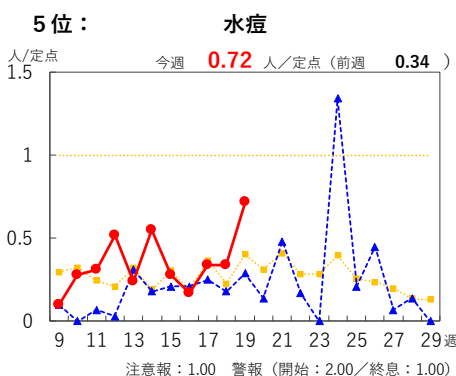
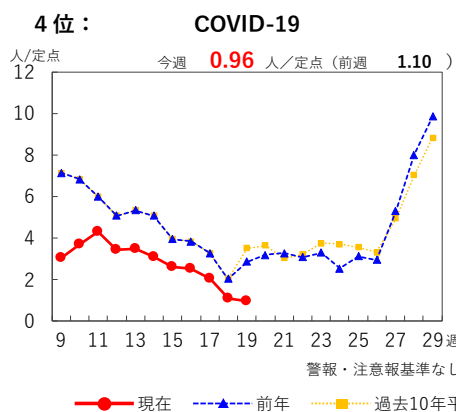
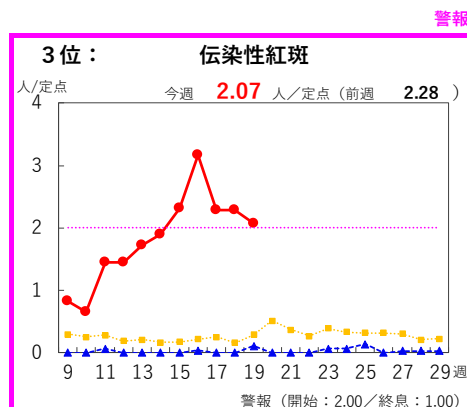
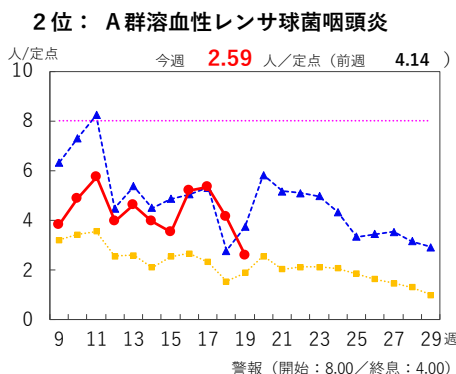
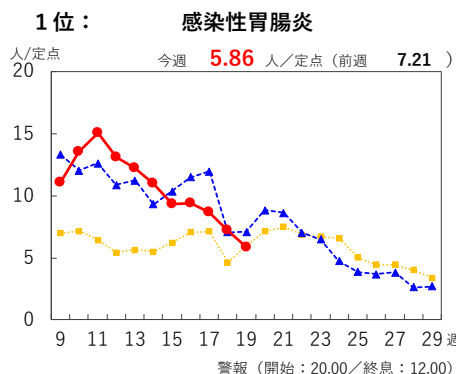
10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。百日咳は、長引く咳が特徴です。咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう（[第 18 週インフォメーション参照](#)）。

○伝染性紅斑の報告数が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数は先週から減少したものの、第 15 週から警報開始基準値（2.0 人/定点）を超えています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので、注意が必要です（[第 17 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 19 週・5/5～5/11）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件（第 18 週診断分：60 歳代、男性）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件（第 17 週診断分：60 歳代、男性、O3、VT1）

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（40 歳代、女性）

百日咳 32 件（①②共に第 17 週診断分：10 歳代、男性 ③第 18 週診断分：10 歳代、女性
④⑤共に 10 歳未満、男性 ⑥10 歳未満、女性 ⑦～⑱全て 10 歳代、男性
⑲～⑳全て 10 歳代、女性 ㉑20 歳代、女性 ㉒30 歳代、男性
㉓40 歳代、男性 ㉔㉕共に 40 歳代、女性 ㉖50 歳代、女性）





野外で活動する際は ダニにご用心！

《 インフォメーション 》

●ダニが媒介する感染症

ダニは春から秋にかけて活動が活発になります。この時期、農作業やレジャー等の野外活動を行うことが多くなるため、ダニに咬まれる危険性が高まります。ダニが病原体を保有している場合、感染症を発症することがあります（表参照）。

疾患名	病原微生物	潜伏期間	症状及び所見	治療法	県内(全国)の患者報告数			
					2022年	2023年	2024年※3	2025年※4
ツツガムシ病	ツツガムシ病リケッチア <i>Orientia tsutsugamushi</i>	5～14日	発熱・発疹・ダニの刺し口	抗菌薬投与※1	3(493)	2(445)	1(353)	0(41)
日本紅斑熱	リケッチア・ジャポニカ <i>Rickettsia japonica</i>	2～8日	発熱・発疹・ダニの刺し口	抗菌薬投与※1	0(457)	1(500)	0(523)	0(8)
SFTS	SFTSウイルス	6～14日	発熱・消化器症状 血小板減少・白血球減少	対症療法※2 抗ウイルス薬投与	1(118)	0(134)	0(122)	0(5)
ライム病	ライム病ボレリア <i>Borrelia bavariensis</i> など	3～32日	遊走性紅斑・発熱 神経症状・関節炎	抗菌薬投与※1	0(14)	0(28)	0(25)	0(0)

※1 テトラサイクリン系等 ※2 ファビピラビル(アピガン®) ※3 2025/3/8時点での暫定値 ※4 富山県 5/14時点、全国 5/8時点

国内で発生する可能性があるダニが媒介する感染症には、ツツガムシ病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ライム病などがあり、重症化すると死に至ることもあります。ダニに咬まれたことに気が付いたら、速やかに医療機関を受診しましょう。

日本紅斑熱、SFTS の患者は西日本を中心に発生していますが、近年では患者発生の地域が東日本へ広がっています。県内では、ツツガムシ病については毎年数名の患者報告がありますが、2022 年に SFTS の患者が、さらに 2023 年に日本紅斑熱の患者が初めて確認されています。

ダニは県内に広く分布していると考えられます。**野外で活動する際は、ダニに咬まれないための対策が必要です。**以下のことに注意しましょう。

- ① 草むらなどに入るときには、肌が露出しないように、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用しましょう。
- ② 服の上や肌の露出部分に、ダニ忌避剤等を使用しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。
- ④ 野外で活動した後は、すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ⑤ ダニに咬まれても痛みや痒みを感じないので、入浴の際に咬まれていないかを確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。
- ⑥ 吸着しているダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、医療機関で取ってもらいましょう。
- ⑦ 発熱等の症状が認められた場合は、早めに医療機関を受診し、野山等で活動したことを伝えましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第19週 2025年5月5日～2025年5月11日）

	分類	疾患	今週報告分（第19週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核							5	1	6	4	23	39
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							4		3	4	13	24
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2
	四類感染症	E型肝炎									2			2
		A型肝炎								1	1			2
		デング熱									1			1
		レジオネラ症								1	2		1	4
	五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									3		5	8
		急性脳炎									1			1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		1		4	6
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
		侵襲性肺炎球菌感染症			1			1	5		5	3	9	22
		水痘（入院例）									1			1
		梅毒							1	1	2		8	12
		百日咳		8	5		16	29	5	18	33	8	91	155
		風しん										1		1
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	376 53.71	302 60.40	890 68.46	210 30.00	1,185 74.06	2,963 61.73	1,762	1,627	5,816	1,227	7,292	17,724
		インフルエンザ	11 1.57	2 0.40	1 0.08	3 0.43	7 0.44	24 0.50	916	847	1,643	973	1,845	6,224
		COVID-19	13 1.86	3 0.60	5 0.38	15 2.14	10 0.63	46 0.96	783	327	890	601	763	3,364
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1 0.25		4 0.50	1 0.25	4 0.40	10 0.34	21	22	103	37	150	333
		咽頭結膜熱	1 0.25		5 0.63		2 0.20	8 0.28	50	17	143	2	44	256
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50	9 3.00	26 3.25	6 1.50	32 3.20	75 2.59	73	168	837	105	1,147	2,330
		感染性胃腸炎	16 4.00	14 4.67	34 4.25	14 3.50	92 9.20	170 5.86	510	429	1,053	355	2,714	5,061
		水痘		1 0.33	1 0.13	1 0.25	18 1.80	21 0.72	2	9	23	8	108	150
		手足口病							1	1	10	1	1	14
		伝染性紅斑	4 1.00	10 3.33	21 2.63	1 0.25	24 2.40	60 2.07	33	85	289	11	287	705
		突発性発しん			2 0.25	1 0.25	2 0.20	5 0.17	3	8	38	13	36	98
		ヘルパンギーナ			1 0.13			1 0.03	15	1	1	1	1	19
		流行性耳下腺炎			1 0.13		1 0.10	2 0.07	1	4	5	1	9	20
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				2 2.00		2 0.29			4	68		72
		流行性角結膜炎					1 0.50	1 0.14	1		15	1	1	18
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
		マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.20	12	4	16	15	4	51
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）									4			4
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	1					1	56	21	46	68	51	242
		COVID-19による入院患者	1		2	2	2	7	73	68	51	110	163	465

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

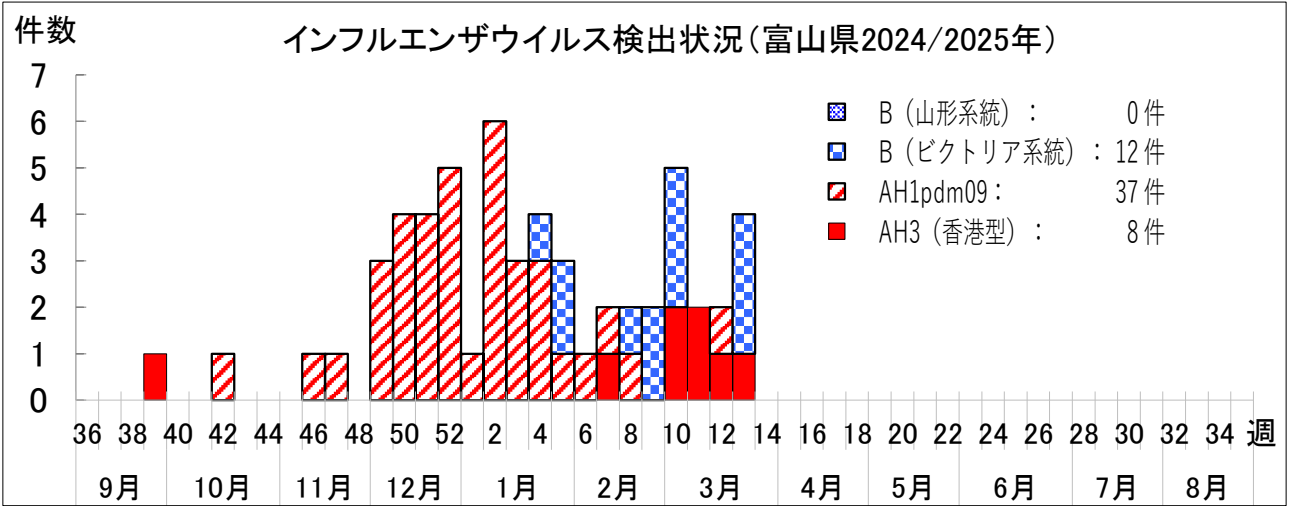
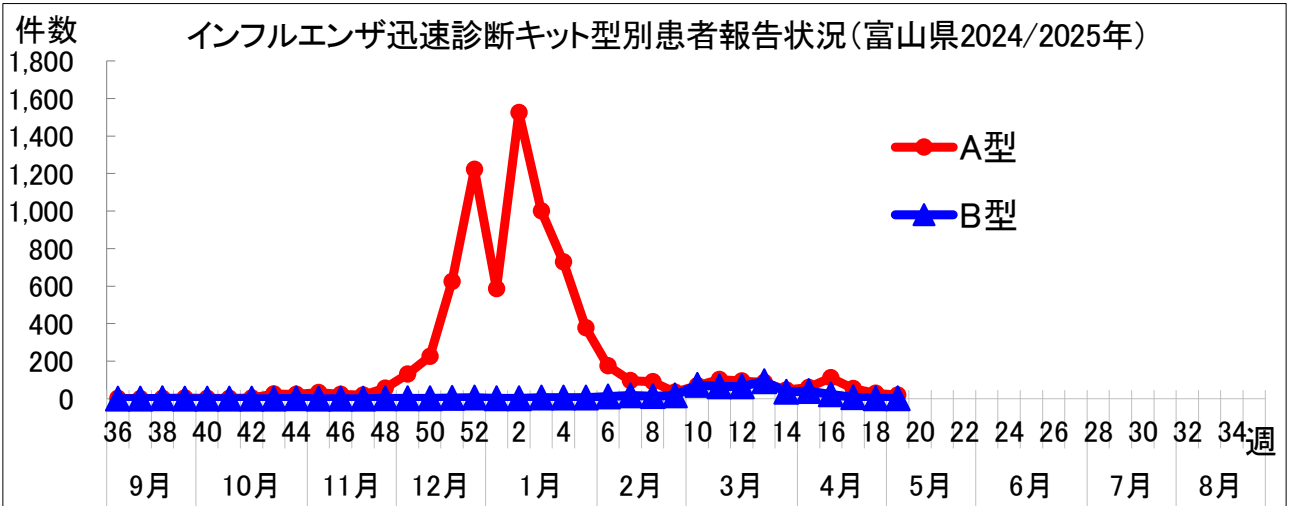
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
現在、下の表によると、A型が79.2%となっています。

第19週(5/5～5/11)：富山県 0.50人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	11	0	0	11
中部	2 / 5	0	0	2	2
高岡	1 / 13	1	0	0	1
砺波	3 / 7	2	1	0	3
富山市	4 / 16	5	1	1	7
富山県	13 / 48 ^{※1}	19	2	3	24
富山県累計(2024年36週～)		7,681	501	556	8,738

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が13か所あったことを示します。
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

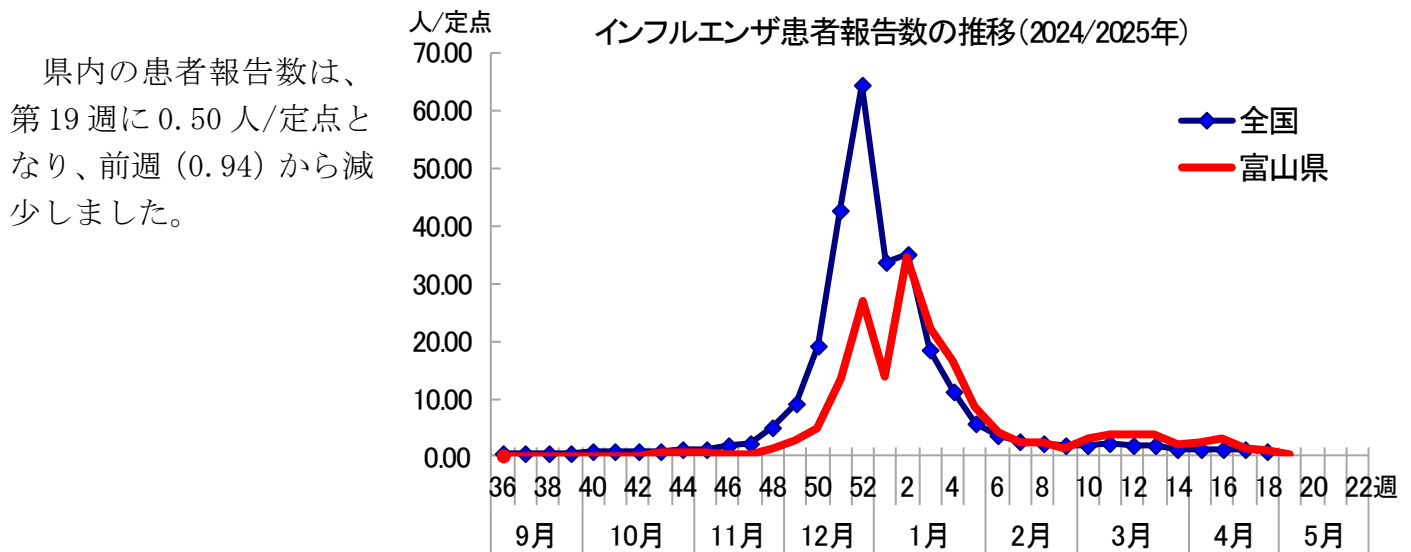




● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 19 週 (5/5～5/11) : 富山県 0.50 人/定点

新川 HC (1.57)、中部 HC (0.40)、高岡 HC (0.08)、砺波 HC (0.43)、富山市 HC (0.44)

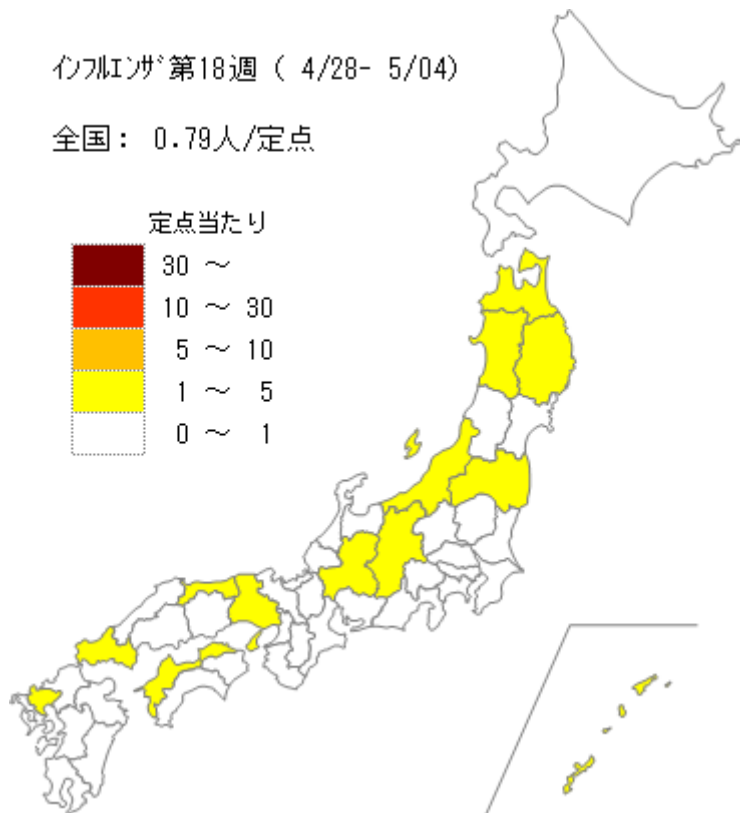


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 18 週 (4/28～5/4)

全国 of 患者報告数は、定点医療機関あたり 0.79 人となり、前週の 1.09 人より減少しました。
8 県で前週より増加しています。38 都道府県で前週より減少しています。

インフル第18週 (4/28- 5/04)

全国: 0.79人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.46 ↓	滋賀県	0.67 ↓
青森県	1.33 ↓	京都府	0.73 ↓
岩手県	1.89 ↓	大阪府	0.58 ↓
宮城県	0.87 ↓	兵庫県	1.48 ↑
秋田県	2.62 ↓	奈良県	0.93 ↑
山形県	0.51 ↓	和歌山県	0.38 ↓
福島県	2.00 ↓	鳥取県	1.31 ↑
茨城県	0.37 ↓	島根県	0.10 ↓
栃木県	0.51 ↓	岡山県	0.92 ↓
群馬県	0.64 ↓	広島県	0.70 ↓
埼玉県	0.95 ↓	山口県	1.68 ↑
千葉県	0.74 ↓	徳島県	0.41 ↓
東京都	0.57 ↓	香川県	2.25 ↑
神奈川県	0.66 ↓	愛媛県	1.05 ↓
新潟県	1.16 ↓	高知県	0.45 ↓
富山県	0.94 ↓	福岡県	0.74 ↓
石川県	0.21 ↓	佐賀県	1.38 ↓
福井県	0.46 ↓	長崎県	0.24 ↓
山梨県	0.71 ↓	熊本県	0.34 ↓
長野県	1.56 ↓	大分県	0.53 ↑
岐阜県	1.11 ↓	宮崎県	0.71 ↓
静岡県	0.24 ↓	鹿児島県	0.79 →
愛知県	0.35 ↓	沖縄県	3.24 ↑
三重県	0.39 ↑	全国	0.79 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（2025年4月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患 (上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数)		4月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			3		12	15			8		25	33
				1.00		3.00	1.50						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			4	5		4	1		19	24
			1.00			1.00	0.50						
	尖圭コンジローマ					1	1				3	6	9
						0.25	0.10						
	淋菌感染症			1			1			1		4	5
				0.33			0.10						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	2	4	2	2	12	5	4	12	7	20	48
		2.00	2.00	4.00	2.00	2.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。